

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第17回

1. 実施日

令和4年2月19日（土）1・2限

2. 場所

1棟多目的教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川和余 佐々木啓成 中澤知里 宮崎雄史郎

5. 内容

「研究ノート」合評会 （1限=50分）

異なるグループである3人ないしは4人が集まり、「研究ノート」の合評会をおこなう。12分×3回で他グループの「研究ノート」を読み、誤字・脱字、不明点等をチェック（直接朱書 or 付箋に記す）しながら熟読する。その際、『「研究ノート」評価票』を使用する。

「研究ノート」グループ省察 （2限=15分）

合評会での諸意見をグループで集約し、検討する。修正の必要があれば、後日行う。
（グループごとに座席チェンジ、CAI 教室は3/10（木）と3/14（月）放課後に開放）

「研究ノート」自己評価 （2限=10分）

グループでの省察後、個人で『「研究ノート」自己評価用』を使用し自己評価を行う。

「イノベーション探究Ⅱ」省察 （2限=15分）

アンケートへの回答をとおして、一年間の取組を省察する。

「イノベーション探究Ⅲ」に向けて （2限=10分）

英語エッセイ作成に向けて、春休みの課題を理解する。
授業担当の1年間のまとめを聴き、この1年間での成長を振り返る。

6. 学び

他の研究グループが作成した「研究ノート」を熟読し、アカデミック・ライティングの手法を踏まえて相互チェックをし、グローバル・イシューに関する課題研究を行った一年間を省察し、次年度の「イノベーション探究Ⅲ」への展望を持つ。

7. 次回への課題

「イノベーション探究Ⅲ」での英語エッセイ作成に向けて、必要な準備を行う。

8. 本時の振り返り

「研究ノート」の合評会においては、じっくりと「研究ノート」を読み、丁寧なフィードバックができていたし、自己の振り返りにおいても、研究過程で汎用的能力を伸ばすことができたというような記述が多く見られた。